

第25回災害対策本部会議における知事コメント

皆さま、本日も被災者支援、そして復旧・復興に全力で御尽力いただき、誠にありがとうございます。

私はいま、東京都千代田区にある熊本県の東京事務所におります。

昨日から今日にかけて、高市総理や関係省庁を訪問させていただき、熊本地震に関する緊急要望を行って参りました。総理に加え、10名もの大臣が私に個別に直接会っていただき、熊本県の要望を丁寧に聞いてくださりました。感謝申し上げます。

様々な要望をさせていただきましたが、中でも、10年前の熊本地震と同様の財政支援のスキームをお願いしたいという点については、強く強く要望させていただきました。

会議の中でも報告がありましたとおり、中小企業における被害額は1,339億円となり、6年前の球磨川水害の倍、そして10年前の熊本地震に迫る被害額となっています。また、農林水産業関連でも、現時点で約845億円の被害が確認されています。

こういった状況から、被災した中小企業の支援に向けた「なりわい再建支援補助金」の予算化、そして、農林漁業者の速やかな営農再開に向けた包括的な支援については、特に特に強調して要望して参りました。

10年前と同様に、国からの強力な財政支援をいただいて、創造的復興を目指していきたいと考えております。

また、高市総理からは、個人や集落が所有している井戸について、国として修復に向けた調査等の支援を検討するという、たいへん心強い御意向を示していただきました。

八代市の被災地では、井戸を生活に使用されている方の割合が高い地域がございますので、こういった地域における生活再建のためには、井戸の修復が極めて重要であると認識しています。会議の中でも説明がありましたとおり、国交省や八代市、さく井（さくせい）協会とも連携させていただきながら、まずは原因調査を進めて参ります。

高市総理をはじめ、大臣の皆様には、私たちの要望を受け止めていただくとともに、たくさんのお前向きなお言葉を頂戴いたしましたことを感謝申し上げます。

最後に、有明高校の皆さん、甲子園での激闘お疲れさまでした。惜しくも本当に惜しくも敗れはしましたが、皆さんの雄姿が、熊本県民に、そして被災された方々に、勇気と希望を与えてくれました。

私は知事として、そして一人の県民として、皆さんのことを誇りに思います。明日県庁にお越しくださるとのこと。私からも精一杯労いたいと思います。感動をありがとうございました！

この後、私も飛行機で今日中に熊本に戻ります。再び熊本で、明日からまた皆様と一緒に頑張って参りましょう。引き続き、よろしくお願いいたします。